



三年先の稽古

発行日：令和3年4月9日

文 責：校長 星野 亜希

♪鉄は打て！打て！熱いうち 夢は抱け！抱け！若いうち♪

※大信中学校ホームページもあわせてご覧ください。



令和3年度がスタートしました。4月6日、着任式、始業式、入学式が行われました。始業式では、校長より次のような話をしました。

まずは、皆さん、進級おめでとうございます。令和三年度の第一学期始業式を迎え、心機一転の気持ちでいることと思います。時季は今まさに「春爛漫」です。この大信中学校もさわやかな風の通り道となっています。

さて、令和3年度のスタートにあたり、一つお話をします。

先月12日、東日本大震災から10年という節目を迎えました。そして、また、この一年、新型コロナウイルス等の感染防止に配慮しながらの生活は、私たちも多くの困難に直面することとなりました。様々な制限に悲しい思いをした人がたくさんいることと思います。

そんな中、2年ぶりに行われた春の選抜高校野球開会式では、宮城県の仙台育英高校キャプテン、島貫丞選手が選手宣誓の中で、「当たり前だと思う日常は、誰かの努力や協力で成り立っている」と述べました。「当たり前だと思う日常は誰かの努力や協力で成り立っている」この言葉は私の心を強く打ちました。当たり前だと思っている日常に感謝し、自分を支えてくれる周りの方々を大切にしなければならぬと改めて感じました。「人は一人では生きていけない。」とは、よく耳にする言葉です。常日頃より、感謝の気持ちを持ち、「ありがとう」という言葉を声に出して素直に伝えたいものだと感じました。

これらのことを踏まえ、みなさんにお願ひがあります。皆さんは、大信中学校の一員です。もちろん先生方もです。大信中学校の一員として「認めあい、支えあい、高めあい」この3つの「あい」を大切にしてほしいと思います。1つめ、「認めあい」。時には、友達と意見が食い違うことがあるかもしれません。相手を否定せずに、建設的な意見を述べながら互いを尊重すること、折り合いをつけていくことを忘れないでください。2つめ、「支えあい」。他を思いやり「お互い様」「おかげ様」の気持ちを持ち続けましょう。3つめ、「高めあい」、目的達成へ向けて大信中学校が一致団結、互いに磨きあいましょう。

最後になりましたが、この一年、やってみたいこと、挑戦してみたいこと、頑張ってみたいことがあることと思います。自分なりの長期目標、短期目標を意識して実践し より素晴らしい自分自身に築き上げ、本校を盛り立てて欲しいと願ひして始業式の挨拶といたします。

今年度、着任しました！

- 校長 星野 亜希（郡山市教育委員会より）
- 教諭 柳沼 杏菜（郡山市立郡山第五中学校より）
- 教諭 遠藤 友理（いわき市立小川中学校より）
- 支援員 高田 浩一（白河市立白河第二中学校より）

4月1日に生徒会役員に迎えていただきました。大信中学校の一員として頑張ります。どうぞよろしくお願いします。

※4月2日はカモシカからの歓迎もうけました。

